

JAえんゆう広報誌

ひざし

2016 1

No. 203

謹賀新年

今月の主な記事

- ◎新年のご挨拶
えんゆう農業協同組合 代表理事組合長 中川 菊夫…… 2
網走農業改良普及センター遠軽支所 支所長 氏家 俊典…… 4
北海道農業協同組合中央会 会長 飛田 稔章…… 5
JAえんゆう青年部 部長 穴戸 宏光…… 6
JAえんゆう女性部 部長 新国 妙子…… 6
- ◎一日皆貯金当選者発表…… 7
- ◎平成27年度子供農業体験学習…… 8
- ◎全道JA青年部大会…… 8
- ◎ホクレン北見支所・青年部意見交換会…… 9
- ◎上湧別玉葱振興会青年部講習会…… 9
- ◎青年部酪農専門部視察研修…… 9
- ◎女性部フレッシュミズ合同研修会…… 10
- ◎上湧別地区女性部料理講習会開催…… 10
- ◎退職者挨拶…… 10
- ◎春の新車フェアのお知らせ…… 11
- ◎平成28年度営農計画書作成協議日程…… 12

組合長新年のご挨拶

えんゆう農業協同組合 代表理事組合長 中川 菊夫



組合員の皆様におかれましては、つつがなく平成二十八年の輝かしい新年を、ご家族の皆様とともに壮健にて迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

さて昨年は、九月に農協法改正法案の成立、十月にはTPP交渉の大筋合意と、我が国の農業・農協にとって大きな変革の始まりの年となりました。しかし、農協法改正の全身を見ますと、共計勘定の見直し、全農・中央会の組織形態の変更など、冷静に見て果たして農業者の所得向

上につながるのか甚だ疑問の残るところです。また「五年間の自主改革の如何によつては、准組合員の規制の在り方について検討する。」とは、不毛の論議であり、協同の理念を侵害するものです。TPP交渉の大筋合意については、本意な結果であり、我々農業者にとつて満足できるものではありません。今後、国会に於いて批准がなされるとしても、政府並びにTPP阻止を掲げた国会議員には、北海道農業を守るため恒久的な国内対策の実現に奔走願ひ、生

産者の不安を少しでも払拭していただくよう求めてまいります。国内景気に目を移しますと、緩やかな回復基調に転じているものの、前半のもたつきで実質GDPはマイナスを示すことが予想されています。企業部門では、収益環境が改善され、補正予算の政策効果等もあり慎重姿勢であった設備投資も、ここにきて回復軌道を示しています。所得・雇用環境も緩やかに改善し、景況感のある一年となることを期待します。さて、昨年は比較的雪解けも早く

謹賀新年

平成二十八年 元旦

えんゆう農業協同組合

代表理事組合長 中川 菊夫
代表理事専務 菅井 誠
理事 菅井 秀幸
理事 関口 哲治
理事 阿部 和彦
理事 八巻 武則
理事 久須田 栄治
理事 岡和田 博
理事 横尾 俊雄
理事 高橋 敬貴
理事 古関 則一



今月号の「いもたま作造くん」はお休みさせていただきます。

「クロスワードパズル」「当選者発表」「読者の声」は休載させていただきます。

春先から良好な天候に恵まれ、玉ねぎをはじめビート、馬鈴薯、デントコーンなどの移植播種作業は順調に進みました。五月、六月と愚図ついた天気もあり、蝦夷梅雨を思わせる日もありましたが、長続きすることなく順調に収穫期を迎えることができ、概ね良好な作柄となりました。

しかし、デントコーン収穫期の終わりに二度の台風が襲来し、倒伏被害を招くなど、収穫には大変苦労されたことと思います。また、手作業によりはさ掛けされた天日干しのシソが、台風の強い風雨により影響を受け、油糧が2・5 kgから2・7 kgと平年作からみると著しく減少しました。台風被害にあわれた方には、心よりお見舞い申し上げます。玉葱については、天候にも恵まれ、過去二番目の大豊作となりましたが、市場価格は安値が続いており、今後に期待をするとところです。ビートについては、平均反収約5・2 t、糖分量は17・6%の糖分取引になっていきます。小麦については、播種期の好天と、雪解けが早かったことが幸いし、反当たり10俵を超える過去最高の収穫量となりました。馬鈴薯他、畑作全般にわたって平年作を超える豊作の年となりました。

一方酪農においては、加工原料乳価バター・脱脂粉乳など1 kg当たり3円60銭の取引価格の引き上げ、畜産クラスター事業による支援策等

により酪農家の搾乳意欲を押し上げ、当組合の生乳生産の状況は、離農者による酪農家の減少はあるものの、前年対比で昨年を0・7%上回る生乳生産量となっております。また、育成・初任牛等の個体販売価格については、生乳生産意欲の向上と酪農経営の大規模化に支えられ、前年を大きく上回る取引価格で推移しています。また、配合飼料等生産資材は、円安などの影響を受け、依然として高止まりが続いています。原料価格の引き下げにより、緩やかな値下げ基調となっております。当組合としては、良質粗飼料確保のため、草地植生改善対策として牧草種子の助成事業、生産基盤の維持拡大を目指し、乳牛導入助成事業及び生乳増産奨励事業を実施いたしました。停電対策としては、PTO駆動発電機を四台導入し、緊急時に備え安心できる生乳生産環境を支えてまいります。今年も酪農生産基盤の拡充・強化、コントラクターの充実と効率化、外国人労働者による労働補完、育成センターの事業充実、生乳増産体制整備のため多面的支援をより一層進めてまいります。また、系統組織としても総力を結集し、新年度の乳価交渉と生産資材価格の低廉化を強く求めてまいります。

地球規模で発生する温暖化による砂漠化と干ばつは、急速に農地を奪い、農業生産力を衰退させ、その国

の経済の活力を奪い、やがては国内外の食糧需給均衡をくずし、脆弱で不安定な社会を生み出す原因となっております。まさに農業は経済の基本であり、生活基盤を支える根本と言えます。農村環境を整備し、土を守り、自然環境を守ることは、頻繁に起こりうる異常気象を抑え込むことにもつながります。その意味において、農業の発展は、地域の維持・振興につながることも、安心・安全な食糧を安定的・継続的に国民に供給することになります。それは、我々農業者にとつて「使命」と「誇り」であり、そして農民が尊ばれ、安心して営農に従事できるよう支援することこそ農協の「使命」と考えています。

農協は自主・自立の組織として、財務の健全化を維持し、地域農業を振興することにより、組合員の営農と生活を守ってまいります。この思いは、協同の理念に立ち一寸たりともぶれることはありません。

今年の干支は申年ですが、申年には「果実が成熟し、固まっていく」という意味があるようです。その意味から、組合員と家族皆様の奮闘・努力がしっかりと形となり、実となる五穀豊穡の一年であることを心よりご祈念申し上げます。系統結果への更なるご理解とご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

酪農専門部会 部会長 澤口 豊 副部会長 秋葉 宏之		代表 佐藤 直行	監事 石丸 政雄	常勤 高橋 淳	参事 井上伸一郎	馬場 秀人	職員 一同
		"	"	"	"	"	"
ビート専門部会 部会長 松浦 健治 副部会長 宮嶋 浩力		"	"	"	"	"	"
		"	"	"	"	"	"
ブロッコリー専門部会 部会長 平野 寿雄 副部会長 中川 雅元		"	"	"	"	"	"
		"	"	"	"	"	"
玉葱専門部会 部会長 花木 慶喜 副部会長 井上 靖		"	"	"	"	"	"
		"	"	"	"	"	"

新しい年を迎えて

網走農業改良普及センター遠軽支所 支所長 氏家 俊典



新年明けましておめでとうございます。平成二八年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

平素より農業改良普及事業の推進に對しまして、農業者、関係機関の皆様には深いご理解と温かいご支援、ご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

さて、昨年のJAえんゆう地域の気象と作況を振り返りますと、春は融雪期が平年より3日早く、4月中旬以降の好天により、は種・移植作業は早く進み、順調なスタートを切ることができました。その後も7月までは各作物とも良好な生育状況でしたが、8月に入り気温は平年並から低く経過し作物にも生育の遅れが見られました。降水量は7月31日は停滞前線の影響から100ミリを超える大雨となり、また10月上旬にも強風と台風23号から変わった低気圧の影響で150ミリの大雨となりました。

秋まき小麦は、6月の低温により生育がやや鈍化した事で登熟期間が50日を確保することができ、収量は

平年を上回り、歩留まりも高い結果となりました。

てん菜は、は種(直播)・移植期が8日早く進み、また適度な降雨から生育は順調に進み、根中糖分は平年並、根重は平年を上回りました。

たまねぎは、移植作業が7日早く進みましたが、6月の低温と日照不足により、生育は軟弱徒長傾向で推移しました。病害虫ではネギアザミウマや軟腐病の発生が多く見られましたが、全体的には球肥大が促進され、生育量が十分確保されたことで平年以上の収量が確保できました。

飼料用とうもろこしは、8月中旬以降の低温により黄熟期で10日遅れとなり、生収量は平年を上回りましたが、乾物収量、TDN収量は平年を下回る結果となりました。また10月上旬に見舞われた2度の暴風雨により、倒伏や折損の被害が広範囲で発生し、収穫作業が遅れるとともに、10〜30%の収穫ロスの発生したほ場もあり、収穫時の土砂混入による品質の低下が懸念されます。

牧草は降雨にも恵まれ、1、2番

草を合わせると平年を上回る収量と平年並の品質が確保されました。

農業をめぐる情勢は、何より環太平洋連携協定(TPP)交渉が閣僚会合で大筋合意され、北海道農業に影響の大きい重要5品目等で大幅な輸入規制緩和措置が行われる事です。当地域においても大きな影響が予想されますが、この難題に立ち向かうためには、地域の皆様の強い繋がりの中から生まれた「地域力」を発揮する事が何よりも大切です。

普及センターでは新年度より第5期北海道農業・農村振興推進計画を受け、新たな普及活動計画を樹立し活動していきます。地域に担い手が残り、残れる農業の振興を目指し、地域の皆様と課題と方向性を共有化しながら活動を展開したいと考えていますので、ご協力をよろしくお願ひします。

最後になりますが、本年が豊穡の秋となり、ご家族の皆様がご健勝でありますことを心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

麦作専門部会

部会長 高柳 雅一
副部会長 城岡 和浩
" 前島 英樹

南瓜専門部会

部会長 松浦 敬貴
副部会長 森谷 満久
" 岡村 貴幸

畜産部会

部会長 高谷 慎二
副部会長 林 秀幸

農機推進委員会

部会長 井上 実
副部会長 松田 勤
" 柳田 拓馬

えんゆう農協青年部

部会長 宍戸 宏光
副部会長 志鎌 英敏
" 大泉 隆喜

えんゆう農協女性部

部会長 新国 妙子
副部会長 松浦三代紀
" 長谷川美香

平成28年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会 会長 飛田稔章



組合員並びにJA役職員の皆様方には、ご健勝にて輝かしい新年を迎えられたものと心よりお慶び申し上げます。

さて、昨年の北海道農業は、一部地域において暴風雨被害が発生するなどの影響がありました。全体的にはおおむね順調な作柄となりました。

皆様方におかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対して、改めて敬意と感謝を申し上げる次第です。

さて、昨年の11月11日に、組合員やJA役職員等、関係者の方々の参加のもと、第28回JA北海道大会が開催されたところです。

「北海道550万人と共に創る力強い農業と豊かな魅力ある農村」をメインテーマとして、向こう3か年にわたるJAグループ北海道の対応方針を確認いただきました。

組合員・JA・連合会・中央会が、各役割を再確認した中で、JAグループ北海道の英知を結集し、基本目標の達成に向け取り組んでいくとともに、北海道550万人から信頼され、ともに歩んでいくJAグループ北海道を目指すこととしております。関係各位の特段なるご理解とご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。

平成27年は、農協改革法案の成立、TPP交渉の大筋合意など、我が国の農業・JAにとって極めて大きな情勢変化があった一年でした。

農協改革については、その主要な目的でもある法改正と農業所得向上の関連性などについて、いまだに十分な理解が進まない中、准組合員制度のあり方や監査の仕組みなどの重要な案件が今後の検討課題となっており、改めて地域農業の振興や農協経営への影響がないよう、政府に対する働きかけを含め、関連する取組みを進めていく必要があります。

一方、TPP交渉に関しては、交渉参加12か国の閣僚会合を経て、昨年の10月5日に大筋合意がなされましたが、守秘義務を盾に交渉に関する情報開示や国民的議論がないままに、大筋合意という結果に至ったことに対して、強い憤りを覚えるところです。

今後、通常国会においてTPP交渉に係る国会審議がなされる予定ですが、改めて、政府並びに各国会議員に対して、今回の合意内容の全容と影響、さらには国会決議との整合性について十分な説明責任を果たすとともに、生産者の不安を払拭し、持続可能な北海道農業の確立に向け、万全な対応がなされるよう強く求めていく必要があります。

世界規模での異常気象の発生、人口増加、経済情勢の変化などを背景に、国際的な食料の需給事情は常に不安定な要因を抱えており、我が国として、先を見据えた中で食料自給率の確保などによる食料の安全保障

体制をいかに確立していくかが問われています。

言うまでもなく、農業は、食料の安定供給という、国民生活に欠かすことができない極めて重要な役割を担っている生命産業であり、その役割は未来永劫変わることはありません。我々農業者・JAグループは、その責任感と自負心のもと、改めて協同の精神に立ち返った中で、現下のさまざまな課題を克服すべく、力を合わせていくとともに、農業・JAに対する幅広い理解と共感を得る取組を積極的に進めながら、長年にわたり先人が築き上げてきた本道農業並びに農業協同組合の基盤をさらに発展させ、後世に継承するよう、ともに頑張ろうではありませんか。

今年の干支は申年(さるどし)です。一説には、申は、伸ばすという意味があり、「草木が十分に伸び、実が成熟していく時期」を表していることでもあります。

今年は、この申年にあやかり、天候に恵まれ実り多い充実した一年となりますよう、併せて、北海道農業並びにJAグループ北海道の一層の発展を心よりご祈念申し上げます、新年にあたってのご挨拶といたします。

新しい年を迎えて

J A えんゆう 青年部
部長 穴 戸 宏 光



新年あけましておめでとうございます。

平成28年の新春を迎え、青年部部員ならびに農業関係者の皆様には心よりお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、春先は天候もよく雪解けも進み順調に農作業を進められました。しかし春先の少雨、秋の台風23号の影響を受け、農作物、飼料作物の品質低下、収量に影響を及ぼす事が懸念されるなど、大変天候に悩まされた年であったように思います。

農業情勢に目をむけますと、昨年10月にT P P交渉の大筋合意がなされた事で今後一層農業を取り巻く情勢は厳しく、そして過酷な状況に向かう事と思います。しかし、我々青年部は個々が高い知識と技術を持ち、一致団結して、北海道農業、日本農業を守る担い手としてより良い農業の発展をめざし活動しなければならぬと考えております。

青年部活動としましては、例年実施している町主催事業への参加、オホーツク農協青年部協議会、北海道

農協青年部協議会など上部団体事業への参加、P R 活動、上湧別小学校

4年生を対象とした農業体験学習など様々な活動おこなってまいりました。また持ち回り事業として、えんゆう青年部が主催し、遠紋北常ブロッ

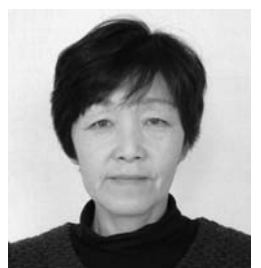
クススポーツ交流会をおこないました。たくさんの方の部員に出席していただき、スポーツを通じて他団体青年部部員と交流し、情報交換するなどして、親睦を深めたり、様々な知識を得たりと、大変貴重な時間だったと思います。その他の事業につきましても各関係機関の皆様と各部員の皆様のご協力のもと円滑に進められた事に厚くお礼申し上げます。今後とも青年部活動を通じて、部員間、そして消費者との相互理解を図り、J A 運営や営農に積極的に取り組む活気ある青年部活動を行い、未来農業の担い手として努力していきたいと考えております。

最後になりましたが、本年も各関係機関および各部員の皆様の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶とさせていただきます。

新年にあたり

J A えんゆう 女性部
部長 新 国 妙 子



あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、ご家族で輝かしい新年をお迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

日頃より女性部活動に対しまして、組合員の皆様、ご家族、役職員の方々のご理解とご協力をいただき深くお礼申し上げます。

本年度の活動も部員の意欲的な取り組みと研修会参加、農業視察などで視野を広げ、また部員交流では多くの部員が知恵を出し合い、笑顔で楽しい時間を共有することが出来ました。

全国的に部員の減少が止まらず、将来的な活動の不安を強く感じており、11月には「女子会」と銘打って、女性部の抱える問題点を考えて、その改善策についてグループ討議を実施しました。現状としては、経営の規模拡大にも限界になりつつ、介護や子育ても加わり活動しにくい女性が増えています。そのような中でありますが、部員の声を広く聞き、改善しながら魅力ある活動を目指していきます。

いきます。

また、農業を取り巻く環境も変化し、女性の社会的参画も求められるようになりました。このことを受け、私たち女性も「J A を学ぶ」機会として農協総会の出席や、合同研修会では、馬場参事による「J A 説明会」を開き、よりJ A が女性にとっても身近に感じ、目を向けるきっかけとなりました。今後は、女性の視点からも物事をとらえ、意見や要望を発信する機会があれば積極的に取り組み、理解を深めていきたいと思いません。

昨今、農業情勢は先行き不透明な中、農業者にとっては不安な一年であったと思いますが、当女性部としても、このような時代だからこそ心をひとつに部員一同元気で豊かな気持ちでいきたいものです。

女性部活動は、誰かのための活動ではありません。自分自身が幸せに一步近づくために自ら作り出していく組織なのだと思います。

本年もご指導ご協力のほどよろしく申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

一日皆貯金

当選者発表

〈特賞〉一万円（五名）

菅野 大樹・吉田 利子・平井 貴幸
菅井 和幸・林 恵美子

〈金賞〉五千元（十五名）

森谷 文子・森谷 柚月・瀧田てつ子
国枝 稔・岡村美由起・横山 笑子
中村 直樹・中居美枝子・福島 達也
高栖 昂央・高橋 明子・岩渕千恵子
佐々木晶子・高橋 哲夫・森谷 米子

〈銀賞〉三千元（三五名）

山口 幸子・青柳 恒敏・関口 昌子
藤井 佳輔・四戸 忠博・小野 道雄
城岡 幸枝・松原 仁美・小島 文子
樋口 雄三・中川 郁子・佐藤まさ子
澤口 桜月・菅原 米子・板垣 桂子
高橋 豊恵・鈴木 浩一・佐々木則幸
菅井 和樹・森 みどり・原田八代子
小原 敦子・奥山富佐子・平塚 道浩
西塚 滋・伊勢谷キミ・鈴木まゆみ
佐藤 忠男・松本 章一・上野 一恵
菊池 和江・延原 温子

〈銅賞〉一千元（百名）

石田 玲子・三品 明美・秦野 明彦
鈴木 昭人・森 智美・角田よし子
志鎌 幸子・大嶋 友和・宮嶋江美子
森谷 満久・近藤 功・吉村倅一郎
斉藤 勝利・上松 政美・鹿野阿津子
玉井 節子・加藤 聡・吉田 慶子
駒形 睦子・八巻 克宣・浜口 重広
河瀬 榮吉・村田 美佳・木村 照子
原田 貞子・成瀬 春菜・中西 裕子
佐藤 弘朗・高橋 和枝・牧野 和美
吉田 隼汰・栗垣 カヨ・村田 七海
石田 京子・寺西 洋子・佐野 宣雄
川合千鶴子・中川 節子・上田 カズ
平井 真紀・中川 吉春・鈴木 健大
佐藤 早苗・小崎きぬ子・杉原ツル子
伊藤 勉・原田 篤・高桑ゆかり
薮 数雄・増田 航・寺西 正信
加藤 和美・高柳 雅一・会田ハルエ
佐川 悦子・高桑 美恵・梅本 松子
楠瀬 アキ・沢口 一義・菅井 正志
高田 由香・佐藤 巨基・岡村 柚奈
坂野 作永・荒井 芳子・岸浪 重男
山木 政子・橘 竣平・宇佐美 緑

成瀬 耕治・関根 洋子・藤枝 賢一
森谷 百花・宗原 朋子・荒井 幹夫
石井 秀子・工藤 佑奈・児玉 杏子
砂野恵津子・福田 純一・高橋 準季
東海林ミイ子・伊藤みゆき・辻 悠悟
菊地 敏子・菊地 舞希・菅野恵美子
高橋 孝子・益山 藍瑠・矢久保幸子
高橋はる子・高橋 淳・児玉 俊広
午来明日香・堀江 光恵・木村 美樹
鈴木 京子・関東アサ子・午来 大樹
工藤 敏弘

（順不同・敬称略。お名前に誤字等ございましたら、ご了承承願いたします。）

当選された皆様、大変おめでとうござ
います。賞金につきましては、一月末日
までに貯金口座に入金いたしますのでご
確認ください。また、当選された方には
あらためて文書にてご通知申し上げます。
当JAは、今年も皆様のお役に立てる
金融機関として貯金業務はもちろん相談
業務充実をはかり、皆様のご利用をお待
ち申し上げております。

カレーライスとバターの手作り体験 平成27年度子供農業体験学習

毎年、食育活動の一環として上湧別小学校4年生児童とJAえんゆう青年部員が力をあわせておこなってきた子供農業体験学習の最終回を12月2日、上湧別小学校で開催し、児童14名といっしょに過去3回の農業体験学習で育てて収穫した玉ねぎ、にんじん、じゃがいもをつかって、カレーライスとバターの手作り体験をおこないました。

カレーライス作りでは、青年部員も子供たちが交じって料理を作りました。子供たちが作り方を教わりながら、手早くカレールーの煮込みまで進めていく姿を見て、部員一同感心するばかりでした。また、カレーライス作りの合間をみて、青年部員でじゃがバター用の蒸かしイモを作り



早くバターにな～れ!

ました。また、カレーライス作りの合間をみて、青年部員でじゃがバター用の蒸かしイモを作り

次にバターの手作り体験をおこないました。青年部員に作り方を教わった子供たちが、ペットボトルに生クリームを入れて、冷やしながらか一杯10分ほど振るとバターが出来上がりました。生クリームが次第に固まっていく様子には子供たちも興味津々で楽しい手づくり体験が出来たと思います。

出来上がったカレーライスと蒸かしイモは、最後に子供たちの「いただきます」の掛け声で美味しく食べて、無事今年度の子供農業体験学習を終えることが出来ました。



美味しく作れました♪

していく予定です。今後とも青年部活動に對してご理解とご協力をお願いいたします。

全道盟友との絆を深め合う 全道JA青年部大会

12月3日～4日、全道各地のJA青年部が集う第64回全道JA青年部大会が札幌市内のホテルでJAえんゆう青年部員他7名を含む全道の若手農家他800人を集めて開催され、「地域の未来を育む事業へ」と「北海道550万人と共に創る『力強い農業』」と『豊かな魅力ある農村』の実現への2点を掲げる大会宣言、そしてTPP（環太平洋経済連携協定）交渉が10月に大筋合意に至ったことを受けた「自らが創造する農政新時代の確立を目指す特別決議」が満場の拍手を採択し、ガンバロウ三唱で2日間の大会を終えてきました。大会では1日目に、青年の主張大会や青年部活動実績発表大会、分科会を見聞して見識を深め、全体懇親会では他JA青年部盟友と絆を深めました。2日



青年部綱領を朗唱する部員の皆さん

目の記念講演では全国の少年院で慰問活動をするお笑いタレントのゴルゴ松本さんから「『命』の授業」を拝聴しました。講演では予定時間を過ぎてもお、盟友たちに魂のこもった熱いメッセージを送る姿を見て、農業に対する思いを新たに、大会の参加を終えることが出来ました。

忌憚のない意見を交換出来ました ホクレン北見支所・青年部意見交換会

J A青年部酪農専門部は12月16日にJ A本所でホクレン北見支所4部署（営農支援室、畜産生産課、生産資材課、酪農課）との意見交換会を開催しました。

この意見交換会は、系統組織であるホクレンと次世代を担う青年部員との間で、一層の意思疎通を図り、現場の声を伝えることでより農家の目線に立つてもらい、地域農業の発展に役立てることを目的としておこないました。

意見交換会では、最初に現在の生乳共販や飼料情勢、肥料や堆肥関連の情報提供をホクレン北見支所4部署の課長級の方々からいただいたあと、意見や要望などについて議論をかわしました。

青年部員たちからは、飼料価格の動向や供給、



意見交換会の様子

生乳出荷についてなど、忌憚のない意見交換が可能なわ、機会があれば今後もおこなっていただきたいとの話があり、有意義なうちに終了することが出来ました。

来年の玉ねぎ栽培にむけて今年を振り返る 上湧別玉葱振興会青年部講習会

上湧別玉葱振興会青年部は、12月18日にJ A本所で講習会を開催し、今年の玉ねぎ栽培で部員がおこなった施肥試験の結果発表と考察、網走農業改良普及センターから平成27年度玉ねぎ栽培状況とよく見られた病害について講義を受けました。

最初に今年おこなった施肥試験結果について部員が発表し、その結果と考察に対して、みんな議論しました。活発に意見を交わして、今後の玉ねぎ栽培に向けて知識を共有しました。

続いて、網走農業改良普及センター遠軽支所の伊東主査から「平成27年の生育状況と病害の発生状況をうかがいました。今年はネジアザミウマ（スリップス）の寄生による収量減や軟腐病が発生しており、次年度はネギハモグリバエや小菌核病、べと病の対策で圃場観察の徹底と早めの防除を心



講習会の様子

掛けるようにしてくださいと話がありました。その他、リン酸強化培土利用によるリン酸肥料の減肥試験について情報提供を受けるとともに部員相互に意見を交わすことが出来ました。

畜舎レイアウトなどを学びました 青年部酪農専門部視察研修

J A青年部酪農専門部は、11月26日〜27日にかけて恒例行事の視察研修を参加部員11名で開催し、酪農学園大学（江別市）で学ぶことができました。

今回、酪農学園大学フィールド教育研究技術センターの長濱愛技師から、畜舎レイアウトや群の作り方、作業動線など、日々の作業を効率的におこなうために必要なことを教えてもらいました。

普段、何気なく当たり前に思っている家畜の並べ方や群の作り方、作業動線をどうするかなど、自分の畜舎の状況を思い起こすと間違った配置だ



長濱技師から講義を受ける部員の皆さん

とも多く、勉強になりました。研修を終えたあとは、宿を取った札幌に移動し、会席では部員お互いの親睦を深めて、視察研修を終えました。

みんなでヒンメリ作りを学ぶ 女性部フレッシユミズ合同研修会

J A女性部フレッシユミズでは、12月14日にJ A本所で合同研修会を開催し、部員18名でヒンメリを作りました。

ヒンメリとは、フィンランドで冬至の頃におこなわれる伝統的なお祭りの装飾品で、麦わらなどを使ってつくりませんが、八面体の形をつくり、それを繋ぎ合わせて作ることに特徴があります。

今回は、白滝地区で畑作を営む江面ファームの江面陽子さんを講師に招いて、ヒンメリの作り方を教えてもらいました。ほとんどの部員が初めて作りましたが、江面さんのわかりやすい講習もあって、1時間半の短い時間でしたが、楽しく



可愛いヒンメリが出来ました♪

作業することが出来て、それぞれが思い思いのヒンメリを作れました。部員の大半が小麦を作っているか、寝わらとして牛舎で使っている人が多く、身近にあるものできれいな装飾を作れたことに感動しました。今後も様々な企画を合同研修会でおこなっていききたいと思います。

美味しい料理を学びました 上湧別地区女性部料理講習会開催

J A女性部とフレッシユミズの上湧別地区では、12月11日に文化センターさざ波（湧別町栄町）で料理講習会を開催し、32名が参加しました。

今回は、クリスマスもまもなくむかえることもあり、ローストビーフを中心にかぼちゃのピザ、玉ねぎみそ、牛乳と野菜のスープの合計4品の作り方を教わりました。

普段、家族の健康管理と胃袋を任されている腕を存分に発揮して、先生に教わりながら、みんなで和気あいあい協力し合って、1時間ほどで4品の料理を作りました。



楽しくみんなで料理を作れました

出来上がった料理は、みんなで試食しながら、楽しいおしゃべりに花が咲いて、有意義なうちに終わることが出来ました。

退職者挨拶

本所経営相談対策室経営相談係

土田 真紀



歳晩の候、組合員の皆様におかれましては、何かとご多忙のことと存じます。

さて、私事ではございますが、12月末日をもちまして退職させていただきます。

平成22年に入組してから、本所営農課、経営対策室と経営相談対策室に勤めさせていただき、この間は大変お世話になりました。

在職中につきましては、公私ともに数々のご迷惑をお掛けいたしました。が、至らない私にご指導と温かいご支援をいただきましたことを心より厚くお礼申し上げます。

最後になりましたが、皆様方のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。また、えんゆう農業協同組合の益々のご発展をご祈念申し上げます。退職の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございます。

～JAグループ 春の新車フェアのお知らせ～

春は、進学・就職の季節です。新車購入のご用命はぜひ。
えんゆう機械センターにお任せください!!



4メーカー
全車種対象
特別企画

2016年1月1日(金)～
3月31日(木)ご契約分まで
春の新車フェア

新車ご購入で、もれなくプレゼント
家族で嬉しい! ご成約で選んでもらえる!

A ルクルーゼ ココットロンド 20cm (チェリーレッドオレンジ)

B パナソニック 低速ジューサー MJ-L500-S

C 象印 炊飯ジャー 5.5合炊き NP-ZB10 WA

D パナソニック ナノケア ドライヤー + ナノケア フェイス蒸スチーマー EH-NA57 (ピンクゴールド) EH-8A36

E ダイソン ハンディクリーナー DC34

F フジ医療器 マッサージシート ドクターエア (レッドブラック) + パナソニック ポケットリフレ EW-NA25 (シャンパンゴールド)

G ホクレンカタログギフト セレクト・フォー・ユー (10,000円相当) + JCB商品券 (15,000円分)

ホクレン さらに! エンジンオイルプレゼント!
エコカーに最適!

軽トラック新車ご購入の方は
スタッドレスタイヤ4本(ホイール付き)も選べます!

マイカーローン JAバンク
http://www.jabank-hokkaido.or.jp

フルマスター JA共済オリジナル お得な自賠責共済セット割引
ご自身とご家族の保障 相手方への保障 お車の保障 JA共済

おクルマのことは JAグループにおまかせください! 全道農業協同組合 JAバンク JA共済 ホクレン

(株)えんゆう機械センター
紋別郡湧別町上湧別 屯田市街地275-2
TEL01586-4-2100 FAX01586-2-2762

株ジェーエーえんゆう組織図

◎燃料事業部

- ・遠軽本店SS・LPG施設
- ・上湧別SS
- ・白滝SS
- ・生田原SS
- ・えんゆうセルフSS
- ・ゆうゆうセルフSS

◎農機・整備事業部

- ・えんゆう機械センター
- ・遠軽営業所

◎エコープ事業部

- ・Aコープ事務所
- ・生鮮館「とんでん市場」
- ・Aコープ中湧別店
- ・Aコープ遠軽店
- ・Aコープ生田原店

新年あけましておめでとございます。
 昨年中はご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
 さて、この度えんゆうグループ三社は平成二十八年
 二月一日に合併し、新たな株ジェーエーえんゆう
 として再出発します。
 社員一同、気持ちを新たに皆様のご用命を心よりお
 待ち申し上げておりますので、旧に倍してのご愛顧
 の程、宜しくお願い申し上げます。

賀正

株ジェーエーえんゆう
 株えんゆう機械センター
 株エコープえんゆう

平成28年度 営農計画書作成協議日程

本所(会場：本所会議室)・遠軽地区(会場：遠軽支所大会議室)

日程	曜日	午前9時～午後12時	午後1時30分～午後4時
1月14日	木	札富美・開盛	旭
1月15日	金	上富美	富美
1月18日	月	北兵村二区・三区	南兵村一区
1月19日	火	北兵村一区	
1月20日	水	南兵村二区	
1月21日	木	屯田市街地	南兵村三区
1月25日	月	千代田・社名淵・美山・留岡・若松	
1月26日	火	学田・向遠軽・豊里・清川	
1月27日	水	栄野・湯の里・瀬戸瀬・若咲	

※協議日程の都合が悪い方は、別会場・別時間でも参加可能です。
 但し、別会場希望の方は、事前に担当者までご連絡お願い致します。
 尚、日程が変更になる場合は、都度連絡申し上げます。

●丸瀬布・白滝・生田原地区につきましては、1月8日以降、個別に
 ご連絡させていただきます。